

# 共生力

NO. 16

2012. 7. 4

HP: <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel: 03-3222-4190 Fax: 03-3222-4199

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-9

第2太陽ビル 301

発行人: 黒田文男

## 第1回教育交流ホームステイ!

### ▲▲▲夏の山梨ホームステイ▲▲▲

本年度、新規事業として、第1回教育交流ホームステイが開始されます。著名な中国研究者によれば、現在の中国の若者の日中交流は、第三次の交流ブームだといえます。第一次は、辛亥革命前後、孫文初め中国の知識人が日本に留学したとき。第二次は、文化大革命後、身近な先進海外国という意味で日本に関心が高まったとき。現在のブームは、アニメ・文化など、若者中心に大きな関心の高まりがあるという。こうした背景にあって、日本留学生も大きな変化をきてきています。留学一年目は、日中の架け橋として大きな岐路に立たされるといえます。まだ日本語も十分とはいえず、日本の文化にもなじめない中での日本と日本人との交流は、留学生にとって大きな意味を持つことでしょう。

ホームステイ事業は、こうした、留学生のニーズに合わせるばかりでなく、ホスト先との交流を通して、語学力を磨き、日中両国の友好の礎を担う人材の育成をめざし、地域からの国際交流を活発にさせることが期待されています。また、この事業は、留学生の実情に詳しい、フジ国際語学院の協力を得ています。

2012年度の事業は、8月17日から19日の2泊3日、山梨県5家庭でのホームステイを予定しています。

## 第4回易県音楽教師養成支援と電子キーボードに250万円支援

2011年の協会20周年事業および神奈川県平塚市の音楽研修会への参加により、易県の音楽研修への関心は一挙に高まりました。



2011 易県音楽教師研修のようす

訪日団教師の一人は、石家荘教育庁から“遠隔教育専門家”の証書を授与されるなど、活動の場を広げています。大きな発展の一步を踏み出しました。

易県音楽教師研修は2012年度で第4回を迎えますが、今回の視察には、2013年度の易県音楽教師招聘計画を見据えて、三重県から音楽教師を中心に3名が派遣されます。専門家のサポートを得て、研修事業が教育交流の

## 第5回評議員会・第9回理事会

### 事業等報告を満場一致で採択

6月14日、日本教育会館において、第5回評議員会、第9回理事会が開催され、平成23年度事業報告・収支計算実績報告並びに監査報告が満場一致で承認されました。黒田代表理事をはじめとする理事・監事・顧問が選任され、また、評議員の補充が行われました。



講演する白剛公使参事官

会議に先立って、中国大使館白剛公使参事官による講演が行われました。公使参事官は、協会の活動、20周年事業は大変いい活動です。協会の皆さんを中国大使館(教育処)にお招きして、交流を深めたいと述べました。以下、講演要旨を記した白剛公使参事官作の詩文を掲載します。演題は、「最近の日中交流に思うこと」

### 観中日関係有感

中日友好来之不易  
歴史教訓不可忘記  
鬪則兩傷和則兩利  
  
一衣帶水無法離棄  
互為鏡鑑歷史規律  
求同存異尊人敬己

互信互惠發展經濟  
文教交流理解之基  
中日兩國智者雲集  
冷靜客觀把握大局  
時不我待莫失良機  
永為友邦前景綺麗

### 中日関係所感

中日友好 容易にもたらされず  
歴史教訓 忘れるべからず  
戦えば共に傷つき  
和すれば共に利益を受ける  
切っても切れないほど  
双方が歴史の規律を鑑とし  
共通点を求め、相違点を残す、  
人を尊ぶことにより、自らを敬う

互信互惠、經濟推進  
文教交流、理解の礎  
中日兩國、識者多々  
冷靜客觀、大局を把握す  
時われを待たず、好機逸すべからず  
永遠、友邦にして、  
美しい未来を見る

実をいっそうあげていくことを期待しています。

また、易県小中学校に150万円相当の電子キーボードを中心とした教育支援を行うこととしました。研修会への支援金100万円と合わせて、総額250万円を支援することになります。

この事業の実施にあたっては、静岡の会員、友誼組織からのご協力をいただいております。

## 第16次訪中団

### 今年も素晴らしい教育交流を！！

2012年度教育交流・派遣事業として、日中国交回復40周年記念・公益財団法人日本中国国際教育交流協会第16次訪中団と第6期安東自由大学派遣が行われます。



2010年第15次訪中団の授業風景

隔年行われている訪中団は、今回、北京と河北省易県を訪問します。北京では、中国都市部の子どもの学習の様子を参観し、易県では、農村部の子どもの学習を参観すると共に、訪中団員の音楽授業を行う予定です。訪中団による交流授業の試みも3回目を迎えました。勿論訪中団参加者全員が、教室の中にとけ込み、授業をつくり上げていきます。毎回、授業は大きな盛り上がりを見せています。易県教育局（教育委員会）や校長先生からは、もっと授業回数を増やして欲しいとの要望も出ています。協会が音楽の授業を中心に交流を深めるのは、『音楽は歴史や文化の理解に欠かせず、言語教育の推進という点からも基礎的な教科である』という共通理解に基づいています。今年も易県の子どもたちが首を長くして待っています。

### === 協会役員等名簿 2012年6月14日現在

顧問（2名）：輿石東、生井栄一

評議員（9名）：近江正敏、大山恭平、清水秀行、田沢憲、

中嶋滋、藤好三知雄、別所勝也、山中小白、山内真司

理事（10名）：理事 黒田文男（代表理事）、山中正和

（業務執行理事・事務局長）吉田一徳（業務執行理事）、

赤岡直人、伊藤宏美、鈴木伸昭、初岡昌一郎、細井篤

志、前嶋徳男、渡邊泓美

監事（3名）：祝迫規之、芹沢秀行、丸光昭

## 第6期安東自由大学

### 大邱セッションに参加

2007年度から、日韓市民の交流の場として、安東自由大学（権重東名誉総長）が開設されてから、6期目を迎えることとなりました。

安東自由大学は

「すべての参加者

が教師であり、生徒である」をモットーに、参加者に隔てない交流を実現してきました。韓国安東市の後援を受けているのも特徴です。

2012年度は、韓国大邱市の慶北外国語大学キャンパスを中心にセミナーが開催されます。

セミナーでは、朝鮮の中世歴史を中心に講義がもたれる予定です。今年は協会の参加する教育学部のために、小学校参観も日程に組み込まれています。

安東市の世界遺産の参観、ソウル視察とあわせ、興味尽きない内容です。一番身近な国際教育交流が韓国での心に残る出会いとなるでしょう。



農家の軒下にも自然の恵みが（安東市）

### 募集

#### ●日中国交回復40周年記念

公益財団法人日本中国国際教育交流協会派遣  
第16次訪中団

○日時 2012年11月4日～11月10日

○訪問地 北京、河北省易県

（学校訪問・授業交流・史跡参観）

○募集人数 20名程度

○費用 180,000円

○詳しい問い合わせは協会事務局まで

#### ●第6期安東自由大学 大邱セッション

○日時 2012年9月2日～9月6日

○訪問地 ソウル、安東市、大邱市

（学校訪問・史跡参観）

○募集人数 若干名

○費用 100,000円

○詳しい問い合わせは協会事務局まで

#### ●第1回教育交流ホームステイ

（今年度は中国人留学生に限る）

○日時 2012年8月17日～8月19日

○滞在地 山梨県

○募集人数 若干名

○費用 10,000円

○詳しい問い合わせは協会事務局まで

◎いずれも定員になり次第、募集を締め切ります。